

2024年度通常授業開始にあたり

◎中学の勉強は難しい!

[小学生と中学生の男女別「授業」理解度] (「学習基本調査報告書」より)

・質問 授業の中だけで国語、算数(数学)、社会、理科、英語を理解できていると思いますか?

| | 男子 | | 女子 | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 小学生 | 中学生 | 小学生 | 中学生 |
| 国語 | 64.5% | 49.7% | 78.6% | 56.1% |
| 算数/数学 | 71.6% | 64.8% | 66.5% | 50.3% |
| 社会 | 61.1% | 48.6% | 62.0% | 35.5% |
| 理科 | 75.5% | 59.8% | 69.5% | 44.6% |
| 英語 | | 45.4% | | 44.7% |

みなさん、このデータを見てどんなことを感じましたか?感じたことを別紙に書いてみましょう。

いろいろな見方ができますよね。私が一番衝撃を受けたのは、中学女子の社会に対する理解度ですね。

[効率的な学習法「モニタリング」しよう]

モニタリングとは、現時点で自分がわかっているものとわかっていないものを確かめながら進めていく作業のことです。

- ・授業中 講師が説明した内容を「わかった」と「わからなかった」ものに分ける。
- ・演習や宿題 「自力で解ける」と「自力で解けない」ものに分ける。

学習を効果的なものにするために大切なことは、自力で解けるものと解けないものに「分けて」考えることです。

[不明点の解決「時間」を大切に]

- ①担当講師への質問 ②自分で教科書や参考書を用いて解決する ③何もしない

不明点を発見した時、みなさんはどれを選びますか?おそらく①か②を選ぶでしょう。では、①と②ならどちらが「効率的」でしょうか。中学生がもてる時間は小学生ほど多くはありません。それは1日のスケジュールを簡単にまとめてみるとわかります。少ない時間の中で最大の効果を出すには、①担当講師への質問、これがもっとも効率的です。

[質問をする意味 なぜ質問は大切なのか]

みなさんは10年たてば、社会に出ることになります。企業に勤めるか、公務員として働くか、それはわかりません。覚えておいてほしいのは、「仕事をするということは、それだけ責任を負う」ということです。その見返りがお給料です。

さて、みなさんがレストランに入ったとしましょう。注文と違った料理が来た、さらに会計の金額を間違えられたと仮定しましょう。みなさんがお客さんなら、こんな対応をされたらニコニコしていられますか?おそらく許さないでしょう。しかし、だれにでもミスはつきものです。だからといって、ミスをしてもいいということにはなりません。ミスは細かいうちに摘んでおき、大きなミスがおこらないようにトレーニングする。それも中学生は勉強を通じて身につけることだと、私は考えています。大きなミスが起こらないよう確認する作業、それが質問です。「仕事の内容、意図を確認することでリスクを回避する」のです。

でも、中には質問が苦手、という人もいるかもしれません。中学生のうちから、質問という名の確認作業スキルを身につけると、社会に出てから大いに役に立てる人材になれますよ。

◎基本に立ち帰ろう

[音読していますか?]

音読は全ての学習の基礎。聞く力、見る力、動く力、伝える力、吸収する力、わかる力、考える力、気持ちを知る力、これら8つの力をつけることができます。覚えるのが苦手、という人は音読をお勧めします。

(監修/加藤俊徳 文北川チハル『かしこい脳が育つ!おんどく伝記』世界文化社、2023)

[面倒なとき、自分にこう言い聞かせよう]

まず5分だけがんばってみよう!

[ものごとを前向きに捉えよう!]

できた自分を想像しよう!

[記録するのも大事]

その日、印象に残ったことを1~2行でいいので、書き留めてみよう。

[何かに夢中になろう]

集中力がある人となない人の差はこれです。夢中になっていることがあれば、集中できます。

ただし、コンピューターゲームやスマホなどはおすすめしません。

◎宿題に関するルール

1. 優先順位をつける。

2. ペースを決める。期限までの日数÷総ページ数=一日のペース

3. 自力で解く。解けないものは飛ばす。自力でできないものの発見が目的。

4. 自力で解けなかった問題をできるようにする。

5. 期限までに指定された範囲が終わらなかった時、_____。

◎自分の成長のために

[なにかのせいにするのは止めよう]

「●●のせいで忙しくてできなかった」これはやめましょう。宿題を出されてから次の授業まで7日間、できる時間は必ずあります。できないのではなく「やらないからできない」のです。

宿題に取り組んでいると、解けない問題もあるでしょう。前の内容に戻りますが、①担当講師にきく、②自力でできるまでやる、このどちらかしかありません。少ない時間の中で効率的に物事に取り組む、そういった考えを身につけてください。担当講師にきく、問題の解決を先延ばしにせず、早め早めに片づけていきましょう。

先んずれば人を制す、後れば人の制する所となる

限られた時間の中でレスポンスよく、早め早めにとりかかきましょう。

[人はいつか自立しなければならないもの]

人はいつか自立しなければなりません。何事においても、自分の頭で考えることができる、それが大人というもの。少しずつ、大人に近づきましょう。教えてくれないからできない、「では、自分はどうすべきか」を自然と考えられるようになった時、君は大きく成長するでしょう。それを学べる場、それがここ平岡中央教室なのですよ!さあ、さらなる成長のための一歩を踏み出そう!